

鈴木直次 教授 履歴・業績

鈴木直次教授 履歴・業績

【履 歴】

学歴

- 1970年 3月 上智大学経済学部経済学科卒業
1970年 4月 東京大学大学院経済学研究科（修士課程）応用経済学専攻入学
1972年 3月 東京大学大学院経済学研究科（修士課程）応用経済学専攻修了
1972年 4月 東京大学大学院経済学研究科（博士課程）応用経済学専攻入学
1976年 3月 東京大学大学院経済学研究科（博士課程）応用経済学専攻単位取得満期退学
1992年 2月 博士（経済学）（東京大学）

職歴

- 1976年 4月 専修大学経済学部専任講師
1979年 4月 専修大学経済学部助教授
1985年 4月 法政大学経済学部兼任講師（国際経済論）（1986年 3月まで）
1986年 4月 専修大学経済学部教授（現在に至る）
1988年 4月～1989年 5月 ケンタッキー大学客員研究員
1990年 9月 武蔵大学経済学部兼任講師（産業論各論）（1991年 3月まで）
1993年 4月 東京大学社会科学研究所兼任講師（全体研究）（1996年 3月まで）
2005年 9月 東京大学経済学研究科兼任講師（基礎経済学）（2008年 3月まで）

【業 績】

【著作】

- 『現代のアメリカ経済』第1章、2章（共著）東洋経済新報社 1983年 9月
『現代のアメリカ経済 改訂版』第2章（共著）東洋経済新報社 1988年 6月
『アメリカ社会のなかの日系企業～自動車産業の現地経営』東洋経済新報社 1991年 3月
『アメリカ産業社会の盛衰』岩波書店 1995年 5月
『現代アメリカ産業社会の変化と雇用労働に関する調査研究報告書』（編著）連合総合生活開発研究所 1997年 9月
『アメリカの経済』（共著）岩波書店 1998年 5月
『アメリカの経済 第2版』（共著）岩波書店 2005年 2月
『変貌する現代国際経済』（編著）専修大学出版局 2012年 2月
『モータリゼーションの世紀』岩波書店 2016年11月

【学術論文】

- 「1960年代におけるアメリカ航空宇宙産業の資本蓄積」（財）機械振興協会『アメリカ産業の現状分析』1 1973

年4月

「第二次世界大戦後のアメリカ経済と軍需産業」(財)機械振興協会『アメリカ産業の現状分析』3 1975年3月

「多国籍企業の形成課程—両大戦期間におけるアメリカ自動車産業の海外事業—」(財)国民経済研究協会『国民経済』第133号 1975年5月

「コングロマリット合併の構造と意義—Ling-Temco-Vought Inc—」『専修経済論集』第11巻第2号 1977年3月

「戦後アメリカの対外援助—マーシャル・プランを中心に—」(財)日本証券経済研究所『証券研究』第54号 1977年11月

「株式ブーム下のアメリカ自動車産業—乗用車生産を中心に—」専修大学社会科学研究所『社会科学年報』第15号 1981年3月

「1920年代末のアメリカ自動車輸出」専修大学社会科学研究所『社会科学年報』第16号 1982年3月

「1920年代を中心とするアメリカ自動車企業の資本蓄積(上)」専修大学社会科学研究所『社会科学年報』第18号 1984年3月

「1920年代を中心とするアメリカ自動車企業の資本蓄積(下)」『専修経済学論集』第18巻第12号 1984年3月

「アメリカ産業構造の研究」『専修大学社会科学月報』1985年11月

「産業構造」,「労使関係」馬場宏二編『シリーズ 世界経済Ⅱ アメリカ』第2～3章 御茶の水書房 1987年9月

「わが国自動車産業の対米進出過程」『専修大学社会科学研究所月報』第296号 1988年3月

「日本企業の国際化」正村公宏・宮本光晴編『高度産業社会と国家』筑摩書房 1988年4月

「わが国自動車企業のアメリカにおける現地生産(上)」『専修大学社会科学研究所月報』第317号 1989年12月

「わが国自動車企業のアメリカにおける現地生産(下)」『専修大学社会科学研究所月報』第321号 1990年4月

「対米直接投資とアメリカの投資規制」御園生等編『いまマルクスをどう考えるか』御園生等古稀記念論文集 河出書房出版 1991年11月

「米国における労働問題の推移」『日本機械産業のグローバリゼーション』第3章 (財)機械振興協会経済研究所 1992年5月

「アメリカ自動車産業の復活」(1)『専修大学社会科学月報』第370号 1994年4月

「1960年アメリカの社会改革と企業」,「変貌するアメリカの労使関係」春田素夫編『現代アメリカ経済論』第5,7章 ミネルヴァ書房 1994年12月

「高度成長の産業的ダイナミズム」橋本寿朗編『20世紀資本主義Ⅰ 技術革新と生産システム』第2章 東京大学出版会 1995年9月

「アメリカ自動車産業の復活」(2,完)『専修大学社会科学研究所月報』第388号 1995年10月

『米国経済の構造変化とその背景』第1章,第2章1 大蔵省財政金融研究所 1996年7月

「大量生産方式の普通性と特殊性」東京大学社会科学研究所編『20世紀システム2 経済成長Ⅰ 基軸』第4章 東京大学出版会 1998年3月

「第二次石油危機下のアメリカ産業」『専修経済学論集』第33巻第3号 1999年3月

「1980年代以降のアメリカ自動車市場の変貌」専修大学社会科学研究所『社会科学年報』第34号 2000年3月

「1990年代のアメリカにおけるダウンサイジングの実態」『専修経済学論集』第36巻第3号 2002年3月

「90年代を中心とするアメリカの産業構造変化」日米経済逆サイクル研究委員会『日米経済逆転の可能性を探

- る』第2章 (財)統計研究会 2002年7月
- 「エンロンの事業展開と簿外取引」『専修経済学論集』第37巻第3号 2003年3月
- 「IT産業の成長と産業構造の変化」篠原三代平編著『経済の停滞と再生』第2章 東洋経済新報社 2003年5月
- 「エンロン破綻とアメリカ経済」『専修大学経営研究所年報』第161号 2004年3月
- 「IT産業と電子商取引の発展」『専修経済学論集』第38巻第3号 2004年3月
- 「米国における産業と雇用の空洞化に関する議論について」独立行政法人労働政策研究・研修機構 2004年8月
- 「オフショアリングと『産業空洞化』」『専修経済学論集』第39巻第3号 2005年3月
- 「エンロンの盛衰と世紀末アメリカ資本主義」『証券経済学会年報』第40号 2005年7月
- 「NAICS (北米産業分類システム) にみるアメリカ産業構造の転換」『専修大学社会科学研究所月報』第531号 2007年9月
- 「アメリカIT産業の成立と世界的展開」馬場宏二・工藤章編『現代世界経済の構図』第2章 ミネルヴァ書房 2009年6月
- 「アメリカIT産業のグローバル展開—東アジアを中心とする半導体産業の海外事業」(1) (2)『専修大学社会科学研究所月報』第556～7号 2009年10月
- 「GMの経営破綻と政府救済 (1)」『専修経済学論集』第44巻第3号 2010年3月
- 「GMの経営破綻と政府救済 (2)」『専修経済学論集』第45巻第3号 2011年3月
- 「米連邦政府による自動車産業支援策 補論」I『専修大学社会科学研究所月報』第589号 2012年7月
- 「米連邦政府による自動車産業支援策 補論」II『専修大学社会科学研究所月報』第590号 2012年8月
- 「戦後アメリカ自動車産業における労使関係の一断面」専修大学社会科学研究所『社会科学年報』第47号 2013年3月
- 「1980年代以降のアメリカ自動車産業における労使関係 (1)」『専修経済学論集』第48巻第2号 2013年11月
- 「1980年代以降のアメリカ自動車産業における労使関係 (2)」『専修経済学論集』第48巻第3号 2014年3月
- 「GMの経営破綻と労使関係—21世紀初頭のGMの賃金交渉の推移」『東北学院大学経済学論集』第182号 2014年3月

【学会発表】

- 「経営システム移転における受容と反発」経営史学会 1992年11月
- 「エンロンの盛衰と世紀末アメリカ資本主義」証券経済学会 2005年6月

【その他】

- 「アメリカの生産性上昇率の鈍化」『経済評論』1981年9月号 1981年9月
- 「米産業の新潮流をめぐって」『国際経済』9月号 1982年9月
- 「産業構造の転換と米国産業の再生」『経済往来』1983.4 1983年4月
- 「日本車 アメリカ現地生産10年」『よむ』岩波書店 1992年1月
- 「1999年アメリカ経済の現状と展望」『ESP』1999年3月号 (No.323) 1999年3月
- 「産業構造の変化とアメリカ経済社会の変貌」統計研究会『ECO-FORUM』Vol.18 No.4 2000年1月
- 「景気減速と米国経済のゆくえ」生活経済政策研究所『生活経済政策』第52号 2002年5月

- 「アメリカ資本主義に何が起っているのか」生活経済政策研究所『生活経済政策』2002年11月号 2002年11月
- 「米国におけるコーポレート・ガバナンスの歴史的展開」『月刊監査役』2004年12月号 2004年12月
- 「混迷深まるアメリカ経済」専修大学大学院公開講座委員会編『現代米国の虚像と実像』第2章 同文館出版
2009年4月
- (翻訳) H. W. アント『世界大不況の教訓』馬場宏二監訳 第3～4章 東洋経済新報社 1978年5月
- (翻訳) V. P. カロツ『アメリカの投資銀行』(財)日本証券経済研究所『証券研究』第55～56巻 1978年5月
- (共同執筆) 森田・宮崎・奥村編『近代国際経済要覧』第5章 東京大学出版会 1981年5月
- (研究ノート) 「フリードマン＝シュワルツの大恐慌論」『専修経済学論集』第19巻第1号 1984年7月
- (書評) 安保哲夫「戦間期アメリカの対外投資—金融・産業の国際化過程— 社会経済史学会『社会経済史学』第50巻第5号 1985年2月
- (書評) 『日本電子産業の海外進出』『東京大学経済学論集』第53巻第3号 1987年10月
- (書評) 「新ビッグ・スリーの時代」岩波書店『よむ』1994年7月 1994年6月
- (書評) 佐美光彦「世界大恐慌」週刊『読書人』1995年6月
- (連載記事) 「やさしい経済学—検証米国経済・ミクロの視点 ①～⑥」『日本経済新聞』1999年8月
- (書評) 坂本清編著『日本企業の生産システム』『産業学会年報』第20号 2000年5月
- (書評) 「スティグリッツ 人間が幸福になる経済とは何か」『生活経済政策』第86号 2004年3月